

ベトナムをもっと理解しよう！

—平和の都市、ハノイに隠された魅力的な美しさ—

早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科修士課程 1 年生

ニユン・ティー, イエン
YEN LUONG THI

キーワード：ベトナム、平和、多様性、多民族国家、世界遺産

Keywords：Viet Nam, Peace, Diversity, Multi-ethnic nation, World Heritage

1. ベトナムの全体の概要

ベトナムはタイ、ラオス、カンボジアと同じインドシナ半島の東の端に位置する南北に細長い国である。ご存知の通り、近代までベトナム戦争がずっと続いていた。今でも戦争の傷跡は至るところに残っているのを感じることができる。それでも、国は「過去にフタをして未来へ向かおう¹」というスローガンを掲げ、近代国家の建設に着手した。独立への長い道のりの過程で、このような過酷な環境に置かれたため、ベトナムの人々の中には強い意識、勤勉の精神、民族団結の意志が生まれ、世代を超えた意識の中に息づいている。これらのおかげで、「新たなベトナム」が誕生した。

今回の発表では、平和なベトナム、素敵なベトナム、活気のあるベトナムなど、多様なベトナムの姿をご紹介します。この発表を通じ、ぜひベトナムの情勢、歴史、文化、風俗にたっぷりとお話しして頂くことを願っている。

ベトナムは東南アジアの中心となり、インド洋から太平洋の輸送接合点となる。北から南へ伸びた S 字状の形をした国で、東側は海に隣接し、西側には山岳地帯が広がっている。面積は日本の 9 割ほどだが、南北の気候が大きく異なっており、ベトナム全体を南国のイメージ一つでくくることはできない。若い活力と魅力一杯の国、21 世紀には飛躍的に発展する可能性を秘めた国だといわれている。

ベトナムは、日本から直線距離で約 3,500 km（直行便の飛行機で約 6 時間）離れている場所である。ベトナムへの直行便は、東京からは 3 路線があり、北部のハノイ、中部

のダナン、南部のホーチミン(Ho Chi Minh)である。

ハノイは北部にあり、ベトナムの首都であり、歴史ある街として知られている。その町並みには独特の落ち着きがあるのが、ハノイの特徴である。ハノイ郊外には、美しい自然に囲まれている世界遺産のハロン(Ha Long)湾が有名だ。また、ベトナム初の世界複合遺産であるニンビン(Ninh Binh)史跡、古都ホアルー(Hoa Lu)遺跡から、美しい洞窟寺であるビックドン(Bich Dong)寺まで、全て足を運ぶ価値がある。また南部のホーチミン市は、かつてサイゴンと呼ばれ、店やレストランがあふれ、にぎやかな生活リズムがあり、新しいビジネスの展開に相応しい現代的な都市に発展した。中部の中心はリゾート開発が進められているダナンである。この場所は空気が綺麗で穏やかな人々が集まり、最近日本人に人気が高まっている。ダナンの近くには、詩や歌の題材にもされる古い町のホイアン(Hoi An)や歴史の香りが漂うフエ(Hue)などもある。

細長い領土のため、ベトナムの南部と北部では気候が異なっている。例えば、南部のホーチミン市の平均気温は 26℃、北部のハノイは 23℃である。南部では一年間に雨季と乾期がはっきりとした気候となり、北部では春夏秋冬という四季がある。ベトナムには、日本にもあるりんご、ぶどう、バナナ、みかん、スイカ、パイナップル、マンゴなどがあるが、日本のようなイチゴやメロン等が作ることはできない。その代わりに、日本にはあまり知られていないリュウガン(Nhan 龍眼)、ヴスア(Vu sua ミルクのような風味がする果実)、ランプータン(Chom chom)、ドリアン(Sau rieng)などが豊富である。

同じベトナムでも、中国に隣接する北部と赤道に近い南部では、食文化が大きく異なっている。日本の名産物のよう

¹ 伊藤 正子 (2013)

【ベトナム基本情報】

面積:	33 万 991km ²
人口:	約 9554 万人(2017 年時点)
首都:	ハノイ(Ha Noi)
人種:	キン族 80%、その他の 53 少数民族 20%
気候:	北部と南部の乾季:11 月～2・3 月頃 中部ダナン(Da Nang)周辺の乾季:2 月～8 月頃
平均温度:	26℃～27℃
宗教:	大乘仏教 80%、カトリック:9%、カオダイ(Cao Dai)教、ホアハオ(HoaHao)教等
言語:	ベトナム語
産業:	農業 20%、工業 35%、サービス業 45%

出典:託聞電波高専

[http://www.kagawa-nct.ac.jp/libraryE/tosyokan-dayori/vol28/pdf/d28_5.pdf]

なカレーやてんぷら、納豆などはないが、ベトナム全国には、食事はごはんがメインで、ベトナム風のおいしい生春巻き、揚げ春巻き、麺類等がよく知られている。北部のデルタ地域では稲作が一番盛んで、良質などから味の良い米がたくさん生産される。また、北部の料理は塩辛いのが特徴で、塩やヌックマム(魚醤)が味のベースになっている。北部の味付けは、南部の料理に比べ、全体的に甘みを抑えた薄味だ。また、北部の海に面していない地域では、川魚も食卓にのぼり、タニシなどを使った料理もある。さらに、中国に隣接しているために、中国の影響を受け、豆腐、麺を使った料理が多いのが特徴である。一方、中部地域は海沿いのため、料理は塩や唐辛子のピリツとした、はっきりとした味付けが好まれている。さらに、西側の山岳地域は、フランスの植民地だった時代の農業の影響で、コーヒー、胡椒、お茶、野菜が栽培され、食生活にも変化をもたらしている。南部は非常に蒸し暑い気候なので、砂糖を使用した甘辛い味がよく好まれる。特に、ライスペーパーを使い、たっぷりの香草類と魚や肉を巻いて食べるのが人気の食べ方である。

ベトナムは中国文化圏の南端にあり、歴史的に儒教を中心とする中国文化および大乘仏教文化の影響を受けたため、倫理観や物の考え方、箸を使う食生活等、さまざまな面で日本とも共通点が多い。日本・沖縄とベトナムは、400 年前には活発に交易を行っていた。ベトナム中部のホイアンという町には当時の日本人街の跡が現在も保存されており、世

界文化遺産に指定されている。他方、ベトナム社会は、フランス統治下、西洋文化の影響を受けたこともあり、西欧的合理精神も身に付けている。

2.多民族国家として多様なベトナム

現在ベトナムには全部で 54 もの民族がいるとされている。この少数民族の人々は、山岳や高原地帯に住み、独自の文化・言語を形成している。しかし、他のベトナム人と全く関わりがないというわけではなく、生活する上で協力しあっている。現在は学校教育などによって、少しずつ同化はしているものの、各民族はそれぞれに固有の文化、異なる伝統、習慣を持っている。ベトナムの民族衣装と言えば、世界一美しい民族衣装と評判も高いアオザイが有名だが、このアオザイ(Ao Dai)は、もともとベトナムで最大多数を占めるキン族の民族衣装である。

現在は外国人観光客向けに少数民族の暮らしを見ることが出来るトレッキングツアーもある。首都ハノイから約 250km 北上にしたところに、中国と国境を接するラオカイ(Lao Cai)という町がある。そこからさらに南西に約 30km 下ると、サパ(Sa Pa)という山間部に到着する。ここでは、モン(Mong)族、ザオ(Dao)族などの少数民族の人々と交流できる。それぞれ異なる衣装に身を包んだ女性たちの、素朴な笑顔が魅力的である。

ベトナムの少数民族の食文化も非常に豊かである。全ては自然から採集できるものを工夫している食べ物だ。例えば、竹の中にお米を入れ、泉の清水を使い、ご飯を炊くコムラム(Com Lam)という名物料理がある。また、自然の葉っぱで色付けするカラフルなおこわは、テー族の代表的な料理であり、人生一度でも味わうべきものである。また、少数民族の黒タイ(Thai Den)族と白タイ(Thai Trang)族の伝統料理として、「干し水牛肉」という食べ物が好まれている。少数民族の人々にとって、水牛は贅沢な食べ物のため、長く保管できる方法が求められる。味付けした水牛の肉を一年間干すと、臭みがなくゆっくり食べられる。

一般的に少数民族の人々は普段険しい山に住んでいるため、団結性が大事になってくる。例えば、エデ族では、お酒を飲むとき、長いストローを使い、同席者が同じツボからお酒を飲むユニックな習慣がある。来客の時は、こうしたお酒の飲み方を通じ、客人と親密な関係作りができると思われる。

3.平和の都市、ハノイ

ハノイはホーチミンに次ぐ2番目に大きな大都市である。このハノイの土地には、新石器時代から人間が住んでいると言われている。かつて李王朝のリータイトー (Ly Thai To) 帝は、1010年に首都を現在のハノイに移転し、タンロン (昇竜 Thang Long) と名付けた。これを記念して、2010年には、ハノイ1000周年の記念行事が行われた。しかし、1802年にグエン (Nguyen) 王朝を創設したザーロン (Gia Long) 帝はフエ (Hue) を首都としたので、1世紀の間、ハノイは一地方都市に降格した。ハノイはこれまで、ドンキン (Dong Kinh) 東部首都など何度も名前が変わったが、1831年にトゥドク (Tu Duc) 帝によって、現在のハノイ (川が曲がりくねった都市) と名付けられた。

ハノイは中心にあるのは、散歩や観光に最適なホアンキム (Ho Hoan Kiem) 湖である。15世紀、黎 (Le) 朝の始祖のレロイ (Le Loi) 帝がこの湖に棲む亀から受けた剣で、中国を打ち破り、ベトナムを中国から解放した。伝説では、その剣をこの湖に返還したのである。湖の周辺は、市民がベンチでリラックスしたり、似顔絵画家がいたり、とても穏やかな雰囲気である。

ハノイ観光で押さえておきたい観光スポットもあり、代表的なところでは、水上人形劇、タンロン (Thang Long) 遺跡、ホーチミン (Ho Chi Minh) 廟、ハノイ大教会や繁華街のシルク (Lua)、ニャートー (Nha Tho) 通りなど。例えば、水上人形劇は、水上に隠された仕掛けを使い、人形の動きが特徴的な伝統芸能である。劇のテーマは、能村の生活や教訓などと絡めながら、伝統的な楽器や民謡とともに、演じられる。ハノイは1000年の歴史を持ち、1010年の李 (Ly) 王朝から始まる王朝の首都、その歴史皇帝の居住していたエリア一帯がタンロン (昇竜 Thang Long) 遺跡として、世界遺産にも登録されている。また、文廟は、ベトナムの初めての大学と知られ、昔は王様と貴族の子どもの勉強する場所で会った。

4.まとめ

以上見てきたように、ベトナムのことについて、まとめると、以下の3点に絞ることができる。

◎ 国家統一～独立～国家防衛の長い歴史

◎ 54もの少数民族から作られる多様で独自の文化

◎ 将来的発展を目指した挑戦の数々

ハノイは政治安定している国でもあり、若い活力に満ちあふれた町でもある。日本の海外での文化・経済・技術移転などの展開にとって拠点となる可能性を有している。今後、日本の社会発展を参考にして、一千年の歴史を持つハノイの都市を礎に若い世代が祖先から受け継いだ情熱の炎をこれからも灯し続けていくべきだろう。私もこれからの日本とベトナムの架け橋として、両国の発展に使命感を持って取り組みたいと思う。

謝辞

ここ数十年、日越関係は、深まりを見せており、派遣される技能自習生、「ジャパンドリーム」を見て日本へ留学する若いベトナム人、即戦力のベトナムエンジニアなど、来日するベトナム人が増加している。具体的に、ベトナムはフィリピンを抜いて、3位になり、262,405人も在日している (外国人全数の10.2%)。昨今、外国人に門戸開くことに、日本国が紛糾し、日本国民の中にも賛成・反対などの意見が活発に議論されている。しかし、両国のことを理解し合いながら、WIN-WINな関係を構築できることに期待している。私は、今回皆さまの前でベトナムについて発表させていただく機会を下さり、誠に感謝を申し上げる。

参考資料

日本語の文献

- [1] 伊藤正子(2013)「戦争記憶の政治学―韓国軍によるベトナム人戦時虐殺問題と和解への道」
<https://ci.nii.ac.jp/naid/110009873249>
- [2] ティン・フィン・テー (2001)「ベトナムの紹介」
<http://www.kagawa-nct.ac.jp/libraryE/tosyokan-dayori/vol28/pdf/d28top.pdf>
- [3] Fish & Tips(2017)「ベトナムの首都「ハノイ」の楽しみ方をご紹介します」
<https://fishand.tips/article/9480/>
- [4] ベトナム旅行情報局 (2014)「ベトナムと日本ってこんなに近い!？」
<http://japan-vietnam.asia/?tag=%E8%B7%9D%E9%9B%A2>

- [5] World Travelog -海外生活・旅行日記(2012)「ベトナムの魅力」
<https://worldtravelog.net/2012/12/vietnam-basic-info/>
- [6] オリーブオイルとひとまわし(2018)「ウニのような不思議な姿！珍しいフルーツ、ランブータンとは」
<https://www.olive-hitomawashi.com/column/2018/06/post-2109.html>
- [7] 世界の食べ物用語辞典(2018)「リュウガン」
<https://world-food.info/longan>
- [8] マイナビ農業(2018)「トロピカルフルーツの食べ方パパイア・ドリアン・マンゴスチン」
https://agri.mynavi.jp/2018_07_29_25452/
- [9] LittleHanoi(2010)「ベトナム料理と食文化」
<http://www.littlehanoi.jp/culture.html>
- [10] ベトナム放送局 VOV5(2013)「キン族の伝統衣装」
<http://vovworld.vn/ja-JP/%E3%83%98%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%A0%E6%B0%91%E6%97%8F/%E3%82%AD%E3%83%B3%E6%97%8F%E3%81%AE%E4%BC%9D%E7%B5%B1%E8%A1%A3%E8%A3%85-153823.vov>
- [11] トラベルしている(2018)「ベトナム、歴史と文化の街ハノイとホアンキエム湖の伝説」
<https://traveltale.net/vietnam-hanoi/>
- [12] ホーツーバオ(2018)「ベトナムの簡単な紹介」
<http://www.jaist.ac.jp/~bao/Writings/VietnamIntro-VJ.pdf>
- [13] 法務省(2017)「平成 29 年末現在における在留外国人数について(確定値)」
http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukari04_00073.html
- [14] 2Sao ベトナム新聞(2017)「Điều cần tuyệt đối tránh khi ăn quả vú sữa」
<https://2sao.vn/dieu-can-tuyet-doi-tranh-khi-an-qua-vu-sua-n-115438.html>
- [15] Am thuc 365.vn(2018)「Chinh phục ống sặc - món ăn cầu kỳ mang nhiều triết lý nhất」
<http://www.amthuc365.vn/cong-thuc/4673-chinh-phuc-xoi-ngu-sac-mon-an-cau-ky-mang-nhieu-triet-ly-nhat.html>
- [16] Mon Ngon I One(2018)「Thịt Trâu Gác Bếp(Sơn La)」
<https://monngonione.jweb.vn/san-pham/thit-trau-gac-bepson-la.html>
- [17] ChiechThiaVang(2017)「Đặc sản cơm lam Tây Bắc」
<http://chiechthiavang.com/tin-tuc/dac-san-com-lam-tay-bac-c943a2017010409555298.htm>
- [18] Tien.thu.vien(2018)「Chương 3: Rượu cần - men say đại ngàn」
<https://sites.google.com/site/tienthuvien/home/chuong-3-rou-can---men-say-dai-ngan>
- [19] Zing.vn(2015)「Nghệ sĩ múa rối nước trở lại trên đất Mỹ」
<https://news.zing.vn/nghe-si-mua-roi-nuoc-tro-tai-tren-dat-my-post540589.html>
- [20] Du lịch Hà thành(2015)「Khám Phá Tổng Quan Về “Văn Miếu Quốc Tử Giám”」
<https://dulichhathanh.net/kham-pha-tong-quan-ve-van-mieu-quoc-tu-giam/>
- [21] My Tour.vn(2014)「Phút Linh Thiêng Trong Những Nhà Thờ Đẹp Nhất Việt Nam - Phần 1」
<https://mytour.vn/location/5876-phut-linh-thieng-trong-nhung-nha-tho-dep-nhat-viet-nam-phan-1.html>
- [22] Tour Hà Nội.vn(2017)「Hoàng Thành Thăng Long di tích lịch sử hoàng thành bậc nhất Việt Nam」
<http://vietnam.citytourhanoi.com/hoang-thanh-thang-long-di-tich-lich-su-hoanh-trang-bac-nhat-viet-nam/>
- [23] Local Guides Connect(2018)「Ho Guom Lake」
<https://www.localguidesconnect.com/t5/General-Discussion/Ho-Guom-Lake/m-p/1018599/highlight/true>
- [24] Viet Nam Online(2018)「Điều chỉnh thời gian tubô định kỳ Lăng Chủ tịch Hồ Chí Minh」
<http://thoibaotaichinhvietnam.vn/pages/xa-hoi/2018-04-03/dieu-chinh-thoi-gian-tu-bo-dinh-ky-lang-chu-tich-ho-chi-minh-55689.aspx>
- [25] Hoang thanhthang long.vn(2014)
<http://www.hoangthanhthanglong.vn/en/986th-death-anniversary-of-ly-thai-to-king-kicked-off/2135>
- [文責: ニュン ティー イエン]

ベトナム語の文献



図1. ベトナムの地図

出典：World Travelog-海外生活・旅行日記（2012）



図2. ベトナムのドリアン

出典：World Travelog-海外生活・旅行日記（2012）



図3. ベトナムのヴスア (Vu Sua)

出典：2Sao ベトナム新聞（2017）



図4. ベトナムのランプータン

出典：ベトナム旅行情報局（2014）



図5. ベトナムのリュウガン（龍眼）

出典：世界の食べ物用語辞典（2018）



図 6. テー族 (Tay) の「五色のおこわ」
出典：Am thuc 365.vn (2018)



図 7. タイ (Thai) 族の干し水牛肉 (Trau gac bep)
出典：Mon ngon I One (2018)



図 8. タイ (Thai) 族のコムラム(Com Lam)
出典：ChiecThiaVang (2017)



図 9. エデ (Ede) 族のお酒 (Ruou can)
出典：Tien.thu.vien (2018)



図 10. 水上人形劇 (Mua roi nuoc)
出典：Zing.vn (2015)



図 11. ベトナムの文廟 (Van mieu Ha Noi)
出典：Du lich ha thanh (2015)



図 12. ハノイ大教会 (Nha tho lon)
出典：My tour.vn (2014)



図 13. ホアンキム湖 (Ho Hoan Kiem)
出典：Local Guides Connect (2018)



図 14. タンロン遺跡 (Thang Long)
出典：Tour Ha Noi.vn (2017)



図 15. ホーチミン廟(Lang chu tích Ho Chi Minh)
出典：Viet Nam Online (2018)